

2024年6月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房
(証券コード6548)
2024年2月13日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

2024年6月期 第3四半期 決算概要



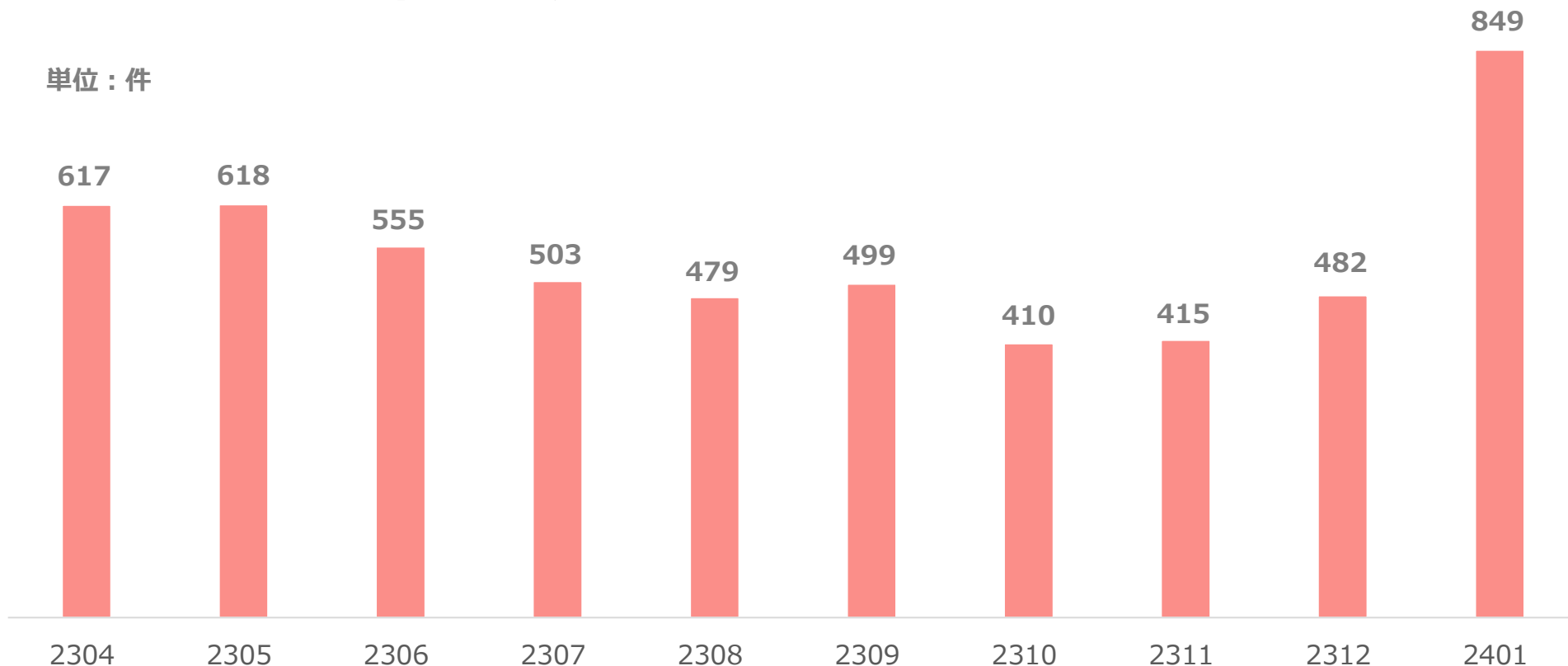
10月末の第三者割当による資本が増加し、債務超過が解消 合わせて短期の有利子負債を返済し、財務状況は大きく改善

単位：百万円	23年3月期 期末	24年3月期 3Q末	増減
総資産	1,846	3,560	+1,714
自己資本	△1,093	2,298	+3,391
自己資本比率	△59.2%	64.6%	+123.8%
有利子負債	2,299	500	△1,799
現金及び預金	827	2,488	+1,660
運転資本*	156	112	△44
敷金・保証金・預け金等	313	265	△47

* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）

広告運用の効率化や商品ページの更新頻度の改善などで
足元の受付件数は伸長
更なる伸長のためには予約人員の採用*₂が必須

単位：件



*₁ 受付件数と最終成約件数（売上に直接つながる数値）の間には成約するか否かやキャンセルなどで差異が出ます。
また、当社は旅行の帰着日で売上計上をしているため、受付と売上計上時期には乖離があります。

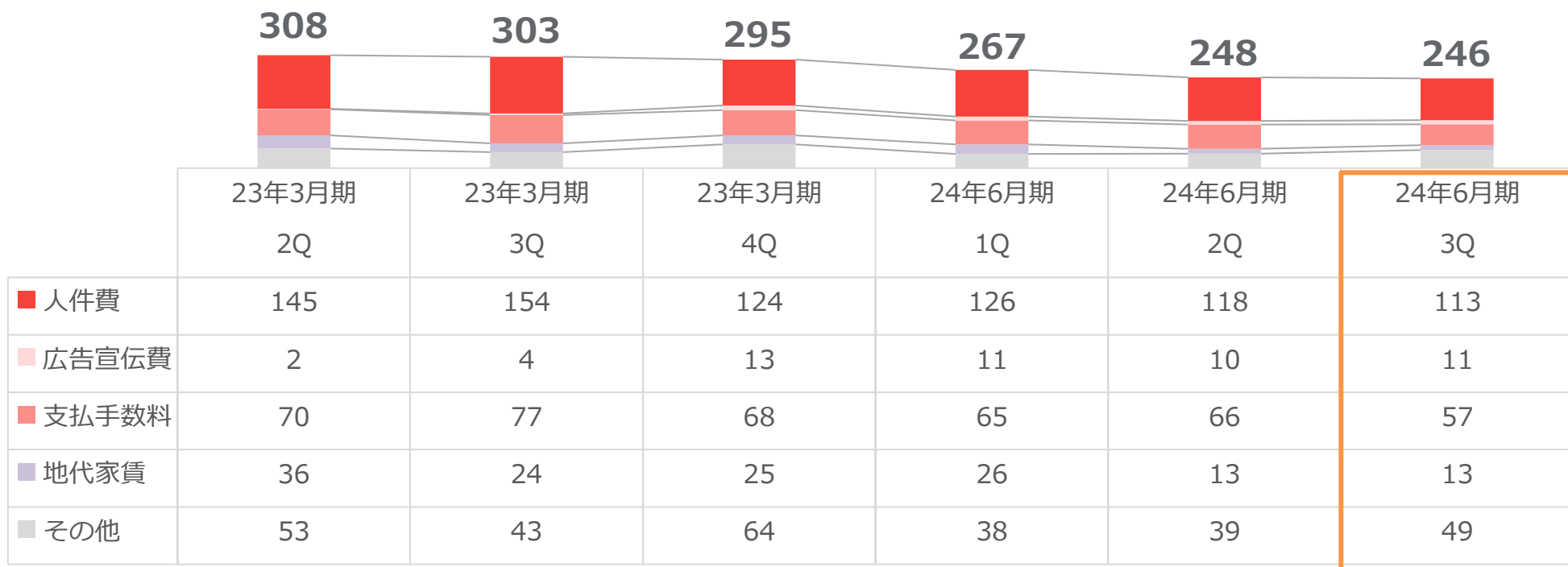
*₂ 24/6期3Q末の人員数は、正社員66名、そのうち15名が予約人員となっております。

3Qは旅行出発件数が少ない時期にあたり、
当社は帰着日を基準に売上計上をしているため
2Qに比べて売上高が減少

単位： 百万円	22/3期 2Q	22/3期 3Q	22/3期 4Q	23/3期 1Q	23/3期 2Q	23/3期 3Q	23/3期 4Q	24/6期 1Q	24/6期 2Q	24/6期 3Q	23/6期2Q 比較増減	23/3期3Q 比較増減	22/3期3Q 比較減額
売上高	252	355	296	193	268	250	550	519	851	666	△185	+416	+310
売上総利益	36	62	74	46	90	118	144	140	220	191	△28	+73	+129
販管費	381	394	425	379	308	303	295	267	248	246	△2	△57	△148
営業利益	△345	△332	△350	△333	△217	△185	△151	△127	△28	△54	△26	+130	+277
経常利益	△295	△308	△347	△306	△218	△191	△162	△126	△36	△89	△52	+101	+218

引き続き全体の販管費の抑制は意識しつつ 4Q以降は広告宣伝や人員採用の費用の投下は積極的に行う予定

単位：百万円



2024年6月期 通期業績予想



海外旅行市場は回復傾向にありますが、情勢は日ごとに変化しており、現時点での合理的な業績予想の算定ができないため、**2024年6月期の業績予想は未定**とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。